

塩素臭（カルキ臭）がする

原因

水道水を消毒している塩素（次亜塩素ナトリウム）が原因です。

臭いを感じる程度は、個人差がありますが、朝一番の水等、給水管（本管から蛇口までの管）に長い時間溜まっている水は、より強く臭いを感じます。

また味にも影響を及ぼします。しばらく流した後の水（本管から送られる新鮮な水）を使用することにより、臭いを感じる程度が軽減されます。

塩素臭は、水道水が病原菌等の汚染から守られ、消毒された安全な水の証であるといえます。

対策

上下水道課では塩素の適正注入に努めています。水道水をよりおいしく飲むため、下記の方法をお試してください。

1. 水道水を冷やす。

水道水を冷やすことで臭いや味を感じる程度が軽減されます。

多くの人がおいしいと感じる水温は 10℃から 15℃とされています。

2. 水道水を沸騰させた後、冷まして飲む。

水道水を沸かすことで消毒の塩素が除去、または少なくなり、臭いを感じる程度が軽減されます。この場合、消毒効果がなくなっている可能性があるため、早めの飲用をお勧めします。